

会報

やまばと

(第70号)



発行

社会福祉法人 浄泉会
秦野市渋沢2620-2
TEL 0463 (87) 1188
発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp
URL
http://yamabato.org/

平成三十一年 新年のご挨拶 社会福祉法人 浄泉会 理事長 西田精吾

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様方には爽やかな新年
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。旧年中は役員の皆様を始め、
峠地域の皆様、又各グループホー
ム所在地の地域の皆様、保護者会
や後援会の皆様、浄泉会に関わり
のある多くの皆様方には何かと大
変お世話になり誠に有難うござい
ました。心から厚く御礼と感謝を
申し上げます。

さて、今年には平成元号の御代か
ら新元号の御代へと変わる節目の
年となりました。平成の御代に感
謝を捧げつつ、新しい御代を寿ぎ、
この一年を利用者様が快適、安心、
安全、楽しく、アットホームで、
健康で満足して過ごして戴けます
よう、やまばと学園信条に則り、
職員一同、力を合わせて支援させ
て戴きます。社会福祉法人制度改
革も一巡致しましたが、その趣旨
を踏まえた経営を継続して参りま
す。しかしながら、施設経営にお
ける人材不足は現在最も大きなリ
スク要因となつてまいりました。
現在当法人の採用については、就

職情報紙等を用いて職員募集を致
しております。採用にあたっては
外国人労働者も含め、新規採用者
の一時的な宿舍の提供、就職一時
金支給等のインセンティブを付加
するなどの対応を行なっているこ
ろです。又、現在社会福祉法人
の約六十%が一法人一施設という
状況にあり、国としては、何らか
の法人統合を提唱しています。当
法人もその例に漏れませんが、社
会事業大学の学長等も歴任し、現
在は社会福祉法人浴風会理事長で
ある京極高宣氏は、著書「社会福
祉法人の経営戦略」の中で、社会
福祉法人は、その周辺地域に於い
て、児童、障害者、高齢者、低所
得者など地域住民の福祉ニーズに
対応するため、複数の社会福祉法
人が加盟する協同組合の創立が望
ましいのではないかと述べており、
これにより、人材確保、福利厚生
事業、合同研修事業、災害対策、
食材の購入、地域公益事業、人事
交流等がはかれるのではないかと
も述べていました。先日もこれに
関する秦野市からのアンケート等

がありました。今後の課題とし
て捉えています。一方現実には
ては、利用者様の高齢化、重度化
が進行して参ります。更なる利用
者様への安全配慮、並びに虐待の
防止、意思決定支援、合理的配慮、
科学的根拠に基づく支援の実践、
AI、IOT、ICT等ITの日
進月歩で進化する中、支援介護機
器等もより具体的な形で現れてつ
つあります。それらを取り入れ、
利用者様の安全、職員の負担軽減
等を図りつつ、SWOT分析に基
づく経営を進めて参ります。本年
は、利用者並びに保護者の皆様、
職員が待ち望んでいた改装が秋に
は完成の予定です。懸案の四人居
屋の解消、新入浴棟、大型エレベ
ーターの完成が後援会の皆様のご
援助と浄泉会の力を合わせて出来
上がることは大きな慶びです。
皆様には、本年も変わらぬご
指導、ご鞭撻を賜りますようお願い
い申し上げますとともに、益々の
ご繁栄、ご健勝、ご多幸を心より
ご祈念申し上げます。新年のご
挨拶とさせていただきます。

新年挨拶
保護者会会長 水谷 孜

明けましておめでとうござい
ます。本年も宜しくお願い申し上げ
ます。福祉行政関係法の中で、利
用者たちは、障がい者手帳で障が
いの軽重度判定を受け、支援区分
判定で、日常生活支援を受けてい
ます。津久井事件以降意思疎通支
援が重要視され、多くの場所得意
思疎通支援の言葉を聞くようにな
りました。ただ心配なことは、具
体的支援が区分判定（法律）の中
で意思疎通支援（人権）が生かさ
れていくのか、意思疎通支援（人
権）が区分判定（法律）より優先
されるのかということです。現行
法においては、支援区分で支援費
が決まるが、多様な個性を重視す
る意思疎通支援の中で支援が行な
われていくとき、職員の方々に大
きな負担がかかっているのではな
いかと心配しています。私たち保
護者は、親も及ばない親身な支援
を日常的に行なっておられること
に感謝の気持ちを持って、保護者
が協力出来る事は全面的に協力し
ていきたい。

謹賀新年
はとの会 会長 加藤 明子

新年あけましておめでとうござ
います。会員の皆様におかれまし
ては、穏やかな新年をお迎えのこ
とと思っております。

今年は、元号も変わる年。何か
と新しい気持ちで夢を抱いて進ん
でいけたらと願っています。

さて「浄泉会やまばと学園後援
会」も、平成30年11月18日より
「浄泉会やまばと学園利用者支援
はとの会」と名称を変更しました。
今後とも変わらぬご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。

学園の利用者も年を重ね、精神
的、身体的に日々支援員さんの見
守り、支援の手を借りることが多
くなってきました。けれど毎日の
日課、生活を仲間と楽しく過ごし
ていることを確信します。

年内には待望のリニューアルが
完成されます。「どんなお部屋に。
お風呂は、大きなエレベーターは？」
これも大きな夢ですね。後援会の
皆様の沢山のご協力のお陰です。

今後とも指導、ご協力の程宜し
くお願いいたします。皆様の「多
幸とご健勝をお祈り申し上げます。

公益事業について
やまばと学園施設長 武居 浩二

秦野市高齢介護課より照会して
いただき、平成三十年十二月五日
より毎週水曜日の午前中、地元栃
窪地区の外出が困難な高齢者の買
い物支援を支えるため公用車を貸
出すことになりました。

これは「社会福祉法人の地域に
おける公益的な取組」として当法
人は実施していきます。

社会福祉法人の本来の役割を少し
でも担えればと思いつきました。
実際に利用された一人暮らしの高
齢者が自宅では全く会話がな
い中、送迎中に楽しそうな笑顔で話
されているとお聞きしました。取
組に参加してよかったという実感
が湧きました。商品が車内にあり
自宅を回る形よりも福祉ニーズに
対応したサービスであることも実
感しました。この事業の一番の担
い手は地元自治会の皆
さんによる運転手です。

「認定ドライバー研修」
を終了され、熱意を持っ
て頑張っていただいて
います。どうぞよろし
くお願い致します。



課長挨拶
相談支援課 課長 越戸 禎子

新年明けましておめでとうござ
います。

平成最後の年となる三十一年は、
新たな時代の始まりでもあります。

やまばと学園も、リニューアル
工事が本格的に開始され、入浴棟
が着々とその姿を見せてくれてい
ます。利用者さんも「お風呂が建
つんだって！すごいね。」「名前
は何がいいかな。」など話し楽し
みにされています。春になると新
しい浴室が使用でき、次は順番に
各フロアのリニューアルです。そ
の間、仮のお部屋での生活となり
ますが、それすらも人生の新たな
一ページ！経験として楽しく生活
できたらいいなと思っています。

さて、私は相談支援課という部
門で、相談支援事業所として利用
者さんの計画相談や一般相談・神
奈川ライフサポート事業として生活
困窮者の相談など
を行っております。
「ちょっと話しに
来ちゃった。」を
待っています。



ひばり班食事を
入所支援課 青木 芳光

12月になり、インフルエンザ・胃腸炎等感染症が流行になるので、事前の手洗い・うがいを行ない、みなさん風邪などを引かない様に心掛けて下さい。話は変わりますが、11月21日にひばり班食事をを行いました。食事は、『みんな協力して料理を作ろう』を目標に、中井コミュニケーションセンターでカレー・大根サラダ・焼肉を作りました。調理の時、何をすればいいか手間取っていました。ご家族は以前経験された事がある様で、テキパキと料理を作っていました。時間が経つにつれ何をすればいいか分かり、カレーを煮詰めたり、サイドメニューを作ったり利用者・職員料理を楽しむ事が出来て、『美味しい!』と皆様から沢山の声が上がりました。



やまばと学園忘年会
入所支援課 山口隼人

本年度は、リニューアル工事に伴い、様々な全体行事が実施困難な状況の中で少しでも利用者様に楽しみを提供したいという職員の思いから忘年会を企画遂行する事となりました。行事担当を任命され、初めて秦野市文化会館を会場として利用させていただく中で戸惑いや不安を隠せない自分に対してたくさんの職員や家族の方々並びに利用者様の温かい言葉は、企画段階において強い励みとなりました。

いざ、当日を迎えて怪しい雲行きに「ああ、また雨になってしまふのか。」と自分の雨男ぶりに落胆する一方で、華やかな舞台で花ごぼ様による歌謡曲発表は、二百五名の参加者全員を魅了させてくださいました。至らぬ点が多々ある中で、様々な助力を得て無事にやまばと学園忘年会を実施できた事を嬉しく思い、ここに感謝の気持ちを表します。



復職のご挨拶
グループホーム 小澤 裕子

この度、十月十六日付で職場復帰をさせていただくことになりました。長い間、お休みをいただき、ありがとうございます。

お休みを頂いたおかげで、娘の成長をじっくりと見守ることが出来ました。現在、娘は一歳になりました。十月から無事に保育園に入園することが出来ました。保育園には、大好きな先生もいるようで、元気がいっぱい通っています。



祝



復職後は、休暇前と変わらず、地域支援課グループホームのチーフを担当しています。

子育てをしながらの勤務となり、今まで以上にご迷惑とご心配をお掛けするかと思いますが、これ以上に取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。

通所挨拶
通所支援課 神尾 夕希

通所センターの新しい仲間の紹介です。十二月より、小嶋 貴さんが来られています。

初めは少し緊張した様子でしたが、今では「おはようよろしくお願ひします」と元気に声をかけて笑顔で登所されています。

ペン作業では出来る、「ぐう」と親指を見せて「グットにできた。」と教えてくれます。

ペン作業も色々な工程がありますが、友達の仕事を見ながら、この先はこうなるのか?と先を見越して次の工程までご自分で考えて進められています。仕事熱心で積極的な姿です。

友達との交流では、室内がぱっと明るくなる笑い声を響かせてくれます。すっかり通所の友達とも仲良くなっています。

これから小嶋様と共に多くの体験をしていくのが楽しみです。

小嶋様が通所センターで自分らしく過ごせるように応援していきます。



異動挨拶
入所支援課 金井 勇闘

入職して四年目となり、二階から三階へ異動して一年が経過して時が経つのは、早いなと感じる今日この頃でございます。

三階の利用者様は、個性が強く個々の利用者特性を覚えるまでは、関係性を築く事ができず、日々悩み続ける毎日でした。

そんな自分に声を掛けてくれた仲間たちには、数えきれないほど助けてもらい、感謝でいっぱいです。

現在は、利用者様の意思決定に重点を置いた支援を意識しています。言葉での表現が困難な利用者様の思いを汲み取ることのむずかしさや、実現することが困難で頭を悩ませる事もありますが、実現に向けて企画立案する事や、実現したときに利用者様が満面の笑顔を見せてくれることに、やりがいを感じて日々精進しております。

これからも三階の利用者様の最高の笑顔を見れるように、支援させていただきますので、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。



ボランティア使い

平成三十年十月〜十二月 貴重なお時間をさいて、行事等ボランティアにお越しいただきました。

○散歩ボラ

秦野カトリック教会 様

○通所センター支援 関ひろみ様

○フルートサークルアリス 様

○花ことば歌謡教室 様

○丸尾 亜美様 (順不同)

ボランティアの皆様ご協力

いただき有り難うございました。

ご寄附をいただいた方々のご紹介

平成三十年十月〜十二月

貴重な浄財をご寄附いただきました。有難うございました。

○やまばと学園家族会 様

○株式会社ブルーミッシュ 様

○株式会社横濱文明堂 様

○悠トピア家族会 様

○リサイクルショップ

「どりーむ」秋元 雅江 様

○花ことば歌謡教室 様

○武田 圭子様 ○佐藤久美子様 (順不同)

人事異動

平成三十年十月〜十二月入職者等

○入職者

総務課総務係 栗原 延好

(平成30年12月18日付)

○復職者

地域生活支援課 小澤 裕子

(平成30年10月16日付)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

寒い日も続きますが、利用者・職員共々風邪にも負けずに毎日元気に過ごしております。

浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています

さて、本年度を持ちまして「平成」が終了致します。各々が様々な想いを持って過ごされた年だったのではないのでしょうか。改元に向けて残された「平成」を健康で楽しく過ごしていきたいと考えておりますので、これからも温かく見守っていただけたら幸いです。

(山口、菊澤、水島)

やまばと学園

リニューアルしました！
ホームページ
<http://yamabato.org/>

メールアドレス
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

浄泉会やまばと学園

利用者支援「はとの会」

■「浄泉会」法人施設やまばと学園等の利用者支援サービスを効果的に実現するため、利用者の福祉支援サービスを補完充実する。

法人会員 年額1口 20,000円
個人会員 年額1口 10,000円
賛助会員 年額1口 3,000円
会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)
どこの郵便局でも00220-5-14491です。
口座名は 浄泉会やまばと学園後援会
新しく会員になれる方はご住所を電話等でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 はとの会担当
〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢2620-2
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876